

第 50 回 旦桜会 開催される

旦桜会の例会が令和 2 年 2 月 14 日に大分市の花邨で開催されました。経済学部 21 回生から 30 回生の集まりである旦桜会には大分市内在住者のほか、別府市、臼杵市、津久見市からも参加者がいます。

(会員による講演は「ICTで変わる世界」)

甲斐幸丈会長(21回)の挨拶に続き、今回は、旦桜会副会長でもある(株)OEC 専務取締役の津行孝充さん(24回)が講演されました。テーマは「ICTで変わる世界」。

昭和 41 年に地場の主要企業が出資して「大分電子計算センター」として(株)OECが発足したときには、当時の大分大学経済学部和田幹雄教授の貢献が大きかったとのことでした。自治体の業務システムに強い同社は、現在では東京都の多くの区役所をはじめ、関東以西の都府県で事業を展開しています。

講演では、数年以内に急速に進む 5G で通信速度が飛躍的に早くなると私たちの暮らしがどのように変わっていくのか、事例を交えながらスライドで説明されました。霧で通行止めになることが日本一多い九州横断道路の日出ジャンクション周辺で、例え視界がゼロでも前方の車が見える技術の研究も進められているとか。



(賑やかな懇親)

池松眞善監事(21回)の乾杯で懇親会に移りました。久しぶりの参加者もあり、また人数が 20 人と手ごろなこともあって、ほぼ全員が 2 人、3 人での会話を通じて絆を深めていました。組み

合わせは 20 とおり。あちこちで話は尽きません。



(100 周年募金への取り組み)

最後に大分支部の高井道晴支部長（21 回）が 100 周年記念募金へのさらなる協力を呼び掛けて締めとなりました。

今回から参加費を少し高くして差額を且桜会として募金に回すことになりました。

